

【板橋キャンパス】前期 見学可能授業一覧（2026年5月25日（月）～6月6日（土））

2026.5.15

・授業の見学は高校生および受験生のみ参加となります。保護者の方は教室内に入れません。  
 ・複数の授業を自由に見学できます（途中入退場自由）。移動時は授業の妨げにならないよう静かにご移動をお願いいたします。

学科名	時限	授業番号	授業名	教員	授業の概要	日程	備考
栄養学科	3限 (13:25-15:05)	1	生化学実験	渡邊 和寿	生化学的手法を用いて臓器や組織中の脂質およびタンパク質を抽出し、それらの含量を定量的に解析する実験を行います。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	
		2	基礎調理学実習Ⅱ	加藤 和子	西洋料理・中国料理を中心として実習を行います。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	実習を行っているため、安全面・衛生面を考慮し、入室せず前後の扉より見学をしてください。
管理栄養学科	2限 (10:55-12:35)	3	給食経営管理学Ⅰ	大 雅世	給食を運営するための理論を学び、3年生からの給食経営管理実習や臨地実習につなげていく内容になっています。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員10名
	4限 (15:20-17:00)	4	病態学実習	佐藤 加代子	臨床栄養学各論（疾患）の基礎を管理栄養学科2年生で実習しています。	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員4名
児童学科	2限 (10:55-12:35)	5	I期：幼児と環境	大西 明美	3年生開講の幼稚園教諭免許状必修科目です。子どもと環境（人・モノ・コト）との出会いについて、特に身近な自然とのかかわりに視点を置いて学ぶ科目です。学生自身が五感を通じて直接的な体験をすることで、子どもにとっての身近な草花や生き物と関わる意義を体験的に理解します。	・5/25 (月)	教室の出入口が黒板側にある為、入退室にあたっては授業補助者も支援します。
		6	Ⅱ期：保育内容「環境」の指導法	大西 明美	3年生開講の幼稚園教諭免許状必修科目です。幼稚園教育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容の基礎的事項について理解し、幼児の発達に即して適切な指導・援助ができるようその方法を身につけることを目指す科目です。	・6/1 (月)	教室の出入口が黒板側にある為、入退室にあたっては授業補助者も支援します。
	3限 (13:25-15:05)	7	I期：保育内容総論	前田 和代	幼稚園教諭免許・保育士資格の必修科目です。幼児教育の基本である環境を通じた教育を理解し、5領域のねらいと内容を踏まえて幼児を観察・記録・分析する力を養います。また、小学校との接続を踏まえた保育と指導計画を構想し、幼稚園教育の見方や考え方を身につけることを目指す科目です。	・5/29 (金)	
	4限 (15:20-17:00)	8	基礎ゼミナール	①笹井 邦彦 ②佐藤 隆弘 ③梁川 悦美	1年生開講の卒業必修科目です。児童学の5分野と、こども・子育てを巡る社会課題に関連した課題を見つける方法や、課題について詳しく調べる方法を学びます。グループで探求の課題に取り組むことを通じて、大学生の学び方や協同して問題解決に向かうための力を身につけることを目指す科目です。	・5/27 (水) ・6/3 (水)	6/3 (水)は②佐藤ゼミの実施はありません。
初等教育学科	2限 (10:55-12:35)	9	理科教育内容	関根 正弘	・学習指導要領の理念の中で、特に若手教員に関連の深い「資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」「理科の見方・考え方」の3つの項目について、理論構築と実践を通じた授業を展開します。 ・小学校理科教育の理論を基にした実践的指導力の基礎を身につけることを目標とします。 ・演習を通して小学生に指導する上で必要な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を目指します。	・5/27 (水) ・6/3 (水)	
	3限 (13:25-15:05)	10	算数科教育内容	佐々木 隆宏	小学校算数科の目標を踏まえ、4領域「数と計算」、「図形」、「測定/変化と関係」、「データの活用」、及び数学的活動の意味を理解して、指導に活用するための資質・能力の育成を目的とします。そのためには受講生自らが数学的な見方・考え方を働かせながら数学的活動を行うことが必要です。そこで、この授業では、教師にとって必要な算数に関する資質・能力を、数学的活動を通して育成するような題材を各領域から抽出し、領域毎に知識・技能のみならず、その領域の考え方や意義について考えてもらいます。したがって、単に算数や数学の問題を解く授業ではありません。なお、授業は算数・数学に対して苦手意識をもつ学生にも配慮しながら行うつもりです。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	
		11	音楽科教育法	宮 祐子	小学校音楽科の内容を理解し、指導できる基礎的な能力を身につけるために、演習を取り入れながら授業を行います。音楽科という教科の特性上、実際に音や音楽を聴いたり演奏したりする体験を通して、教材や指導方法を理解していきます。ペアやグループでの活動や模擬授業を行うことで、授業を組み立て、音楽科の学習について理解を深めるようにします。模擬授業の場面では、デジタル教科書も活用します。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	
	4限 (15:20-17:00)	12	生活科教育内容	田村 恵美	子どもの実態や地域の特性を踏まえた生活科の授業を展開していくために必要な基礎力を理論と実践の両側面から習得します。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	

学科名	時限	授業番号	授業名	教員	授業の概要	日程	備考
服飾美術学科	2限 (10:55-12:35)	13	服飾造形Ⅱ	杉野 公子	ワンピースドレスの縫製実習を行います。デザインを考え、製図引き、各自のサイズで製作します。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	
		14	ニードルアートⅡ	大塚 有里	刺繍には多くの種類や技法があり、服飾品製作における付加価値を付ける要素となります。区限刺繍の一つであるハーダンガーワークの織り糸カット後のかがり方や仕上げ・仕立ての説明をする予定です。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員10名
		15	色彩学	富谷 智	色彩理論の基礎を具体的な事象と関連付けて解説する授業です。 5/26 (火) 色の記録 伝達方法 (3) オストワルトシステム、NCS、DIN色票 6/2 (火) 色の記録 伝達方法 (4) XYZ表色系、L*a*b*表色系	・5/26 (火) ・6/2 (火)	授業中の出入りは後部座席が混んでいる場合、前から入っても構いません。静かに出入りしてください。
		16	被服繊維学	大井 龍	5/26 (火) : 合成繊維の説明 (ナイロン、ポリエステル) 6/2 (火) : 合成繊維の説明 (アクリル、ビニロン他)	・5/26 (火) ・6/2 (火)	授業中は後ろから静かに出入りしてください。
		17	アパレル生産実習	田中 早苗	台衿付シャツ製作のための工業用パターン作成、または布の裁断を行なっています。	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員7名 教室後ろからの立見となります。
		18	ニットⅠ	大塚 有里	ニット地の構造やゲージの意味を理解するため、各自の手形から目数・段数を割り出し、棒針編みのミトンを製作しています。公開中は、手先の減目後、メリヤス接ぎでつないたり、親指を編んだりする予定です。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員10名
		19	立体的裁断	鈴木 由子	身頃原型やスカートのドレーピング・確認・修正作業・採点も行っています。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	廊下 (教室の外) から覗いてください。
		20	立体的裁断	田中 早苗	立体的裁断は、人台に布をピンで留め付けて衣服パターンを得る方法です。印付け、ライン入れ、製図等の基本技術を学びます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員7名 教室後ろからの立見となります。
	3限 (13:25-15:05)	21	被服材科学実験Ⅱ	濱田 仁美 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	着心地に関連する布の物性を測定し、実験データを解析してプレゼンテーションを行います。 ・通気性・圧縮特性の測定 (5/25) ・最終発表会 (6/1)	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員10名 最終発表会 (6/1) の回は、実験は行っておらず、学生がプレゼンテーションをしています。この回は一度に教室に入れるのは5名程度です。
		22	服飾造形Ⅱ	佐藤 奈未	ワンピースドレスの縫製実習を行います。デザインを考え、製図引き、各自のサイズで製作します。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員10名
		23	被服繊維学	大井 龍	5/26 (火) : 合成繊維の説明 (ナイロン、ポリエステル) 6/2 (火) : 合成繊維の説明 (アクリル、ビニロン他)	・5/26 (火) ・6/2 (火)	授業中は後ろから静かに出入りしてください。
		24	立体的裁断	田中 早苗 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	立体的裁断は、人台に布をピンで留め付けて衣服パターンを得る方法です。印付け、ライン入れ、製図等の基本技術を学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員7名 教室後ろからの立見となります。
		25	パターン設計Ⅱ	高水 伸子 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	デザイン画からパターンを手作業で製図することを中心に学ぶ授業です。婦人服9号を中心として、サイズ展開(グレーディング)の基本も併せて学修します。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員10名 対面授業ですが、各自のペースに合わせ、オンデマンド資料を視聴しながら、作図しています。ご来訪の方は、後方より静かに見学して下さい。
		26	デザイン基礎概論	富谷 智	主に衣服以外のデザイン領域から考察を進め、デザインの意味とその思考方法を探ります。 5/27 (水) 近代デザイン史 (4) ベーター・バーレンス / パウハウス 6/3 (水) アノニマス・デザインと柳宗理	・5/27 (水) ・6/3 (水)	授業中の出入りは後部座席が混んでいる場合、前から入っても構いません。静かに出入りしてください。
		27	専門ゼミⅠ	木村 美智子	天然染料の染色性について、文献調査や実験を通して理解を深めます。	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名
		28	被服材科学実験Ⅱ	濱田 仁美 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	着心地に関連する布の物性を測定し、実験データを解析してプレゼンテーションを行います。 ・最終発表会 (5/29) ・構造特性・保温性の測定 (6/5)	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員10名 最終発表会の回 (5/29) は、実験は行っておらず、学生がプレゼンテーションをしています。この回は一度に教室に入れるのは5名程度です。
		29	立体的裁断	鈴木 由子	身頃原型やスカートのドレーピング・確認・修正作業・採点も行っています。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	廊下 (教室の外) から覗いてください。
		30	繊維加工学実験	木村 美智子 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	繊維製品に施されている加工について、実験を通して学ぶとともに撥水性や防汚性などの消費性能について理解を深めます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名 実験中なので入口からの見学になるかもしれません。
	4限 (15:20-17:00)	31	被服材科学実験Ⅱ	濱田 仁美 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	着心地に関連する布の物性を測定し、実験データを解析してプレゼンテーションを行います。 ・通気性・圧縮特性の測定 (5/25) ・最終発表会 (6/1)	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員10名 最終発表会 (6/1) の回は、実験は行っておらず、学生がプレゼンテーションをしています。この回は一度に教室に入れるのは5名程度です。
		32	立体的裁断	田中 早苗 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	立体的裁断は、人台に布をピンで留め付けて衣服パターンを得る方法です。印付け、ライン入れ、製図等の基本技術を学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員7名 教室後ろからの立見となります。
		33	パターン設計Ⅱ	高水 伸子 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	デザイン画からパターンを手作業で製図することを中心に学ぶ授業です。婦人服9号を中心として、サイズ展開(グレーディング)の基本も併せて学修します。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員10名 対面授業ですが、各自のペースに合わせ、オンデマンド資料を視聴しながら、作図しています。ご来訪の方は、後方より静かに見学して下さい。
		34	ファッション文化論	沢尾 絵	日本・アジアの染織史に関する講義です。プリントとパワーポイントを用いて授業を行っています。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	教室の後ろからの出入りをお願いします。教室の後ろから覗いていただくような形をお願いします。
		35	被服材科学実験Ⅱ	濱田 仁美 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	着心地に関連する布の物性を測定し、実験データを解析してプレゼンテーションを行います。 ・最終発表会 (5/29) ・構造特性・保温性の測定 (6/5)	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員10名 最終発表会の回 (5/29) は、実験は行っておらず、学生がプレゼンテーションをしています。この回は一度に教室に入れるのは5名程度です。
		36	立体的裁断	鈴木 由子	身頃原型やスカートのドレーピング・確認・修正作業・採点も行っています。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	廊下 (教室の外) から覗いてください。
		37	繊維加工学実験	木村 美智子 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	繊維製品に施されている加工について、実験を通して学ぶとともに撥水性や防汚性などの消費性能について理解を深めます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名 実験中なので入口からの見学になるかもしれません。

学科名	時間	授業番号	授業名	教員	授業の概要	日程	備考	
造形表現学科	1限 (9:00-10:40) ※9:30からの参加になります。	38	表現とデザインB1(情報)	宮本 真帆	[2年生実習] 本科目では、①WEBサイトデザインの基礎と②メディア作品の為の初歩プログラミングの制作実習を通して、この分野の基礎を広く学び視野を広めます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名	
		39	織物 I	大木 敦子 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習] 繊維造形の基本として織とフェルトの技法の習得を中心に表現のバリエーションを増やし、自己のイメージの具現化へつなげます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名	
		40	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)	
		41	染色 I	早瀬 郁恵 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名	
		42	絵画表現	山藤 仁 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習]	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名	
		43	染色 I	早瀬 郁恵 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
		44	住環境デザイン I	金城 正紀 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
		45	映像メディアアート	兼古 昭彦 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
		46	育ちのための表現A	岡田 京子	[2年生実習] 小学生の造形表現の初歩的な内容について、様々なテーマ、材料、用具、場などを体験しながら、実技を通して学ぶ授業です。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
		47	陶芸 I	高田 三平 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
		48	メディアデザイン	宮本 真帆 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習] グラフィックス表現としてのアニメーションを研究し、アニメーションにプログラムを組み込むことによって実際に動作する作品を制作します。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
		49	基礎造形	手嶋 尚人 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名	
		50	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)	
		51	素材と表現	高田 三平・早瀬 郁恵 大木 敦子・押元 信幸 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[2年生実習] 素材(粘土)の特性を体感しながら、テーマごとに自分の表現を展開し、やきものとして完成するまでの工程を体験します。 [早瀬担当] 世界各地で古くから行われてきた防染技法のひとつである「絞り染」の実習を通して浸染の工程を学び、繊維素材や染料の扱いについて理解を深めます。まず、糸や板等で「括る」・「括る」ことによる布の変化を体感し、更に重ね染めや抜染を繰り返しながら、1枚の布を染め上げていくことで、構成力と色彩感覚を養います。 [大木担当] 織物の基礎として、つづれ織りの制作実習を行います。木枠に張った経糸(タテイト)に緯糸(ヨコイト)を織り込んでいき、緯糸で自分のデザインを表現していきます。技法と道具の使い方を修得し、素材とデザインの関係を探ります。 [押元担当] 金属造形の基礎として、素材の特性を生かした自分の表現について考察します。授業は自然物の観察から「抽象フォルム」を導き出し、金属の特質を踏まえた加工技法を習得しながら立体表現の制作所作を身につけていきます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名 4教員が別々の教室で並行して実施	
		52	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)	
		53	基礎造形	豊田 聡朗 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	
		54	基礎造形	岡本 恵 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	
		55	織物造形A	大木 敦子 ※2期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習] 「一枚の布」をテーマに、オリジナルのテキスタイルを制作します。 布が持つ役割と可能性を探り、素材、技法の研究から試作を重ね、作品制作へとつなげます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	
		2限 (10:55-12:35)	56	表現とデザインB1(情報)	宮本 真帆	[2年生実習] 本科目では、①WEBサイトデザインの基礎と②メディア作品の為の初歩プログラミングの制作実習を通して、この分野の基礎を広く学び視野を広めます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
			57	織物 I	大木 敦子 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習] 繊維造形の基本として織とフェルトの技法の習得を中心に表現のバリエーションを増やし、自己のイメージの具現化へつなげます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
			58	基礎表現	豊田 聡朗、岡田 京子 兼古 昭彦、手嶋 尚人 ※3・4期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習]	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名 4教員が別々の教室で並行して実施
			59	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)
			60	染色 I	早瀬 郁恵 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
			61	絵画表現	山藤 仁 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習]	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
			62	染色 I	早瀬 郁恵 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名
	63		住環境デザイン I	金城 正紀 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
	64		映像メディアアート	兼古 昭彦 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習]	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
	65		育ちのための表現A	岡田 京子	[2年生実習] 小学生の造形表現の初歩的な内容について、様々なテーマ、材料、用具、場などを体験しながら、実技を通して学ぶ授業です。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
	66		陶芸 I	高田 三平 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[3年生実習]	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
	67		メディアデザイン	宮本 真帆 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習] グラフィックス表現としてのアニメーションを研究し、アニメーションにプログラムを組み込むことによって実際に動作する作品を制作します。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員5名	
	68		基礎造形	手嶋 尚人 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名	
	69		ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)	
	70		素材と表現	高田 三平・早瀬 郁恵 大木 敦子・押元 信幸 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[2年生実習] 素材(粘土)の特性を体感しながら、テーマごとに自分の表現を展開し、やきものとして完成するまでの工程を体験します。 [早瀬担当] 世界各地で古くから行われてきた防染技法のひとつである「絞り染」の実習を通して浸染の工程を学び、繊維素材や染料の扱いについて理解を深めます。まず、糸や板等で「括る」・「括る」ことによる布の変化を体感し、更に重ね染めや抜染を繰り返しながら、1枚の布を染め上げていくことで、構成力と色彩感覚を養います。 [大木担当] 織物の基礎として、つづれ織りの制作実習を行います。木枠に張った経糸(タテイト)に緯糸(ヨコイト)を織り込んでいき、緯糸で自分のデザインを表現していきます。技法と道具の使い方を修得し、素材とデザインの関係を探ります。 [押元担当] 金属造形の基礎として、素材の特性を生かした自分の表現について考察します。授業は自然物の観察から「抽象フォルム」を導き出し、金属の特質を踏まえた加工技法を習得しながら立体表現の制作所作を身につけていきます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名 4教員が別々の教室で並行して実施	
	71		ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)	
	72		基礎造形	豊田 聡朗 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	
	73		基礎造形	岡本 恵 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[1年生実習] 自由に発想する方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	
	74		織物造形A	大木 敦子 ※1期との連続授業となります。(出入りは自由です。)	[4年生実習] 「一枚の布」をテーマに、オリジナルのテキスタイルを制作します。 布が持つ役割と可能性を探り、素材、技法の研究から試作を重ね、作品制作へとつなげます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	定員5名	

学科名	時限	授業番号	授業名	教員	授業の概要	日程	備考
造形表現学科	3限 (13:25-15:05)	75	基礎表現	豊田 聡朗、岡田 京子 兼古 昭彦、手嶋 尚人 ※2・4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名 4教員が別々の教室で並行して実施
		76	情報メディアデザインA	宮本 真帆 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【3年生実習】 デジタルメディアの制作技術を習得するとともに、情報伝達の基本的な考え方を学びます。技術とともに「デザインの考え方」を重視して進めます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
		77	コミュニケーションデザイン	瀬戸 啓太 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
		78	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】 ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)
		79	基礎造形	大木 敦子 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】 自由に発想する為の方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
		80	インテリアデザインA	豊田 聡朗 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【3年生実習】	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
		81	染色造形A	早瀬 郁恵 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
		82	映像メディアアート	兼古 昭彦 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名
		83	絵画表現	山藤 仁 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名
		84	美術と環境	黒澤 伸	【2年生講義】	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名
		85	インテリアプロダクト	豊田 聡朗 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名
	86	陶芸造形A	高田 三平 ※4限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名	
	4限 (15:20-17:00)	87	基礎表現	豊田 聡朗、岡田 京子 兼古 昭彦、手嶋 尚人 ※2・3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名 4教員が別々の教室で並行して実施
		88	情報メディアデザインA	宮本 真帆 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【3年生実習】 デジタルメディアの制作技術を習得するとともに、情報伝達の基本的な考え方を学びます。技術とともに「デザインの考え方」を重視して進めます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
		89	コミュニケーションデザイン	瀬戸 啓太 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員5名
		90	ICTデザイン	宮本 真帆・瀬戸 啓太 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】 ICTとデザインの関連性を理解した上で、ビジュアルデザインの基礎、画像処理、映像デザイン(モーショングラフィック)の基礎を中心に学びます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名 オムニバス形式 (週によりどちらかが担当)
		91	基礎造形	大木 敦子 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【1年生実習】 自由に発想する為の方法、何を表現するか、どう表現するか、どんな方法を選ぶか、どんな素材を選ぶか、どんな技術や道具を使うか、等々を体験します。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
		92	インテリアデザインA	豊田 聡朗 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【3年生実習】	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
		93	染色造形A	早瀬 郁恵 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員5名
94		映像メディアアート	兼古 昭彦 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
95		絵画表現	山藤 仁 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/27 (水) ・6/3 (水)	定員5名	
96		インテリアプロダクト	豊田 聡朗 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名	
97		陶芸造形A	高田 三平 ※3限との連続授業となります。(出入りは自由です。)	【4年生実習】	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員5名	

学科名	時限	授業番号	授業名	教員	授業の概要	日程	備考
英語コミュニケーション学科	1限 (9:00-10:40) ※9:30からの参加になります。	98	言語・コミュニケーション概論 I	三宅 ひろ子	言語と文化の深い関係を学ぶと同時に、実生活における言葉の使い方の方に意識を向けていきます。また、英語が国際言語としてどのように使われているか、実態を見ていきます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員10名程度
		99	英語教育学概論 II	吉野 康子	英語教員としての基礎知識として、言語習得や学校種ごとの英語教育の特性や現状を理解し、課題を考察していく授業です。	・5/27 (水)	定員10名程度 オムニバス授業のため、5月27日までが吉野康子の担当となります。
		100	言語・コミュニケーション特講A	鈴木 繁幸	本講座は「言語と文化」について考える講座です。言語学の中の一分野である「語用論」(Pragmatics)の視点から、「言語と文化」について考えます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	
	2限 (10:55-12:35)	101	英語科教育法II	田頭 憲二	この授業では、英語教員として必要な知識と指導法を学び、文法や語彙の教え方への理解を深めます。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	定員10名程度
		102	観光学概論 I	堀 泉	観光の仕組みや観光ビジネスの基本を学ぶ授業です。5/28 (木)と6/4 (木)では、実際の事例を見ながら、観光商品を造るための観光マーケティング手法を理解します。	・5/28 (木) ・6/4 (木)	定員10名程度
		103	Intermediate Global Communication I	リード・サミュエル	英語コミュニケーション学科の必修科目です。授業ではスピーキングとコミュニケーションに重点を置いています。少人数授業です。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員10名程度
	3限 (13:25-15:05)	104	ゼミナールI	小池 新	講義ではなく、学生の発表が主体のゼミナール形式で、プログラミングを通じてアルゴリズム的思考方を身につけます。	・5/25 (月) ・6/1 (月)	定員10名程度
	4限 (15:20-17:00)	105	英語学・英語史概論 I	横田 由美	現代英語がどのように誕生・発達したかを概観する授業です。見学の第7回(6/2(火))では標準英語の萌芽が出てくる1100年から1450年頃の英語と社会状況を見て行きます。	・6/2 (火)	定員10名程度 授業用プリントを用意します。
		106	英語学・英語史特講義 I	根本 貴行	幼児のことばの獲得過程を考察していく授業です。その中で、文を構造として分析する作業があり、5月末から6月にかけて、この解説と、じっさいに文の意味を考えながら構造を表記していく演習が行われます。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	演習の際は、授業に参加も可能です。
	心理カウンセリング学科	1限 (9:00-10:40) ※9:30からの参加になります。	107	対人関係の心理学	亀山 晶子	日常の様々な対人関係における私たちの心理や行動のメカニズムについて、心理学の理論や知見をもとに紹介していきます。また、対人スキルの練習ワークやグループワークなどの体験学習も行います。	・5/25 (月) ・6/1 (月)
2限 (10:55-12:35)		108	養護概論	青柳 千春	教育職員である養護教諭が、学校で担っている役割や職務内容について理解する講義中心の授業です。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員10名
3限 (13:25-15:05)		109	グループアプローチ実習 I	杉山 雅宏・温泉 美雪	構成的エンカウンターという集団で行うエクササイズを通じて他者と交流し、自己理解や他者受容を深めることを目的としています。身体を使ったエクササイズや(例:ジェスチャーdeしりと)、 「夢マップづくり」などの制作を行います。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	定員10名
教育福祉学科	3限 (13:25-15:05)	110	生涯学習支援論 I	宮地 孝宜	参加型学習の技法を学び、実際にグループに分かれて体験します。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	
	4限 (15:20-17:00)	111	社会福祉演習 I	小山 聡子	前週に体験したバリアフリー教室を振り返りながら、社会的障壁に関する報告会を開催します。	・6/2 (火)	
		112	精神保健福祉援助演習 (社会福祉演習 I と合同)	福富 律	グループワークにより、「障害の社会モデル」に関して理解を深めます。	・6/2 (火)	
		113	社会福祉演習 I (精神保健福祉援助演習と合同)	柳沢 志津子	グループワークにより、「障害の社会モデル」に関して理解を深めます。	・6/2 (火)	
		114	臨床心理学概論	山崎 洋子	5/29 (金) 検査法による臨床心理アセスメントの必要性と技法について説明後、実際に心理検査を体験します。 6/5 (金) 心理療法全般について、その効果と限界について説明します。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	受講生の理解度等により、授業内容に変更が生じる可能性があります。
社会デザイン学環	2限 (10:55-12:35)	115	3次元CADソフト演習 I	林 園子	3Dプリンターを使ってデザインします。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	
	3限 (13:25-15:05)	116	基礎ゼミナール	尾崎 司	企業・自治体・地域と連携したプロジェクトを行うPBL(課題解決型学習)を行います。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	
文化情報学環	1限 (9:00-10:40) ※9:30からの参加になります。	117	社会学概論	岩田 庄平	仕事とビジネスの実践(現代の働き方やビジネスのリアルについて考える)、家族とジェンダーの変容(共働き社会におけるワークライフバランスと新しい家族の形)について考えます。	・5/30 (土) ・6/6 (土)	
	3限 (13:25-15:05)	118	地域社会とアート	和田 菜穂子	ワークショップの企画、グループワークを行います。	・5/29 (金) ・6/5 (金)	
	4限 (15:20-17:00)	119	社会教育経営論 I	白木 賢信	社会教育行政の先行事例についての発表(グループワーク)を行います。	・5/26 (火) ・6/2 (火)	